



昨今、人間不信に陥るような犯罪や治安が良い国ではなかったのか！？と思えるような犯罪が報道されます。あきらめや人心の荒廃がこのような犯罪を生んでいるのでしょうか？人権意識のある、希望の見える、血のかよった社会に変えていきたいものです。定年を迎え、この場の文章を書かせていただくことは最後となります。40年間福祉に携わることができ、「人間っていいな」と思える幸せな時間を過ごすことができました。この場をお借りして感謝申し上げます。

園長 杉浦伸枝



3月の予定

- 3日(金) PMひなまつり会
- 6日(月)～10日(金) 面接週間
- 10日(金) 岡村 Dr. 診察
- 17日(金) 茶話会、防災訓練
- 20日(月) 誕生会
- 27日(月) 卒園・終了式
- 28日(火)～4月4日(火) 春休み
- 4月5日(水) 入園・始業式



6日(月)～10日(金)は
面接週間となります。
通常リハビリはありません。



卒園する皆さんへ

卒園後も相談に応じますので
いつでも連絡してください



外来保育(10:30~11:30)

6日(月) 13日(月)
22日(水)



3月うまれのおともだち

14日 うみちゃん 3さい

18日 あさちゃん 3さい

23日 S・こうすけくん 2さい

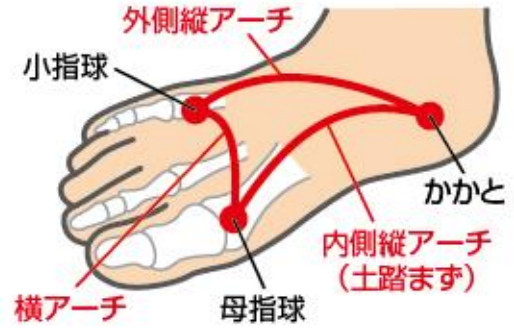


足について

●体を支える仕組み

足には内側・外側縦アーチと横アーチというものが
あり、歩く時に衝撃を吸収したり、推進力を伝えたり
しています。

足の内側縦アーチが低下すると、扁平足と言われる
ものになります。



●扁平足とは

扁平足とは、土踏まずがない、もしくは低い足の状態です。扁平足には、単純型の扁平足と外反扁平足
があります。

●外反扁平足とは

「立位で足を後ろから見たときに踵の骨(踵骨)が内側に倒れている状態(外反)」+「土踏まずが形成され
ていない状態」=【外反扁平足】と呼ばれています。

●扁平足だと何がいけないか

- ・地面からの衝撃が吸収できずに、身体各関節の負担になる。
- ・重心移動がスムーズに行えなくなる。
- ・バランス能力も低下してしまう。
- ・外反母趾など足部の変形にもつながる。



●身体の成長と骨の成長

足の骨は2歳～3歳くらいから
軟骨状態の骨からしっかりとした
骨になっていき、足のアーチが形
成されていきます。なのでこの時
期に外反扁平足傾向にある子に、
足底装具の作製を勧めています。

●装具について

外反扁平足傾向にあるお子さん
に対して、伝い歩きや歩行が実
用的に行えるようになってきた
段階で足底装具を作成して足部
のフォローを行うことがあります。
装具を使用することで、足の傾
きを修正し、バランスを取りやす
くしたり、正しい足の位置で運
動したりすることができます。

※装具を使用すれば必ず治るとい
うわけではありません。

	0歳	2歳	6-7歳	10歳
身体の成長	第一次成長期 足の骨は軟骨状態	運動神経がもっとも発達する 足根骨が骨化し足のアーチ形成		第二次成長期 足の大部分の骨化完了
運動の変化	はいはい・はじめて立つ	基本的な歩行動作の完成 よちよち歩き 歩行であり動作ができるようになる	基本的運動(走る)の完成	初歩的スポーツ技能 専門的スポーツ技能
	0~1歳	1~3歳	4~6歳	7歳以降
X脚・O脚・P脚	O脚からP脚へ	X脚へ	X脚からP脚へ	それぞれの脚の形へ
かかとの働き		内側へ傾いてゆく	内側に傾いている	まっすぐになってゆく
土踏まずの形成	未形成	未形成	土踏まずができてくる	土踏まずの形成終了
足根骨の骨化	踵骨・距骨(胎児)・立方骨・第三楔状骨	第一楔状骨	第二楔状骨舟状骨	踵骨の骨端核

